



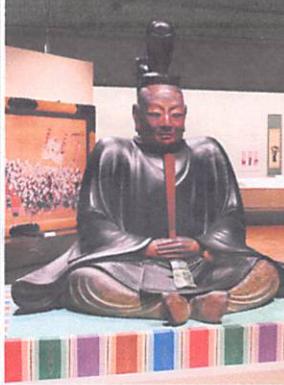
スピリット 常中魂

平成27年 6月11日 NO・33

〒311-1114 水戸市塙崎町1016
TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

正しかれ、豊かなれ、気高かれ



天下人 德川家康 像



今川義元 像



シャツを中に入れ、身だしなみと心を整える常中生たち

サッカー部が、ゲーム形式の練習を始めようとしていた。

坂田先生から、「まず身だしなみを整えるぞ、シャツを中に入れる」と指示が出される。さつと反応し、シャツをズボンに入れる生徒たちの姿をみながら、歴史上の偉人、徳川家康と、今川義元の逸話が脳裏をよぎった。

家康は、今川義元のもとで、子ども時代を人質として過ごした。今川義元は、家康を養育する係の者に「（家康を）むごく育てよ」と指示したという。義元の言う、「むごく育て方」とは、どのような育て方のことだろうか。実は「わがまま放題をさせろ」というような意味だったようだ。

「贅沢をさせよ」「何でも思いどおりにさせよ」「わがまま放題にさせよ」そのように育てれば、「将来立派な馬鹿殿（バカトノ）に育つ。」（社会で通用しないわがまま者に育つ。そうすれば将来自分を脅かす存在にはならない）といふ考えだったようだ。

社会にはルールがある。スポーツで身だしなみを整えることは、社会で生き抜くルールを学ぶ第一歩だ。坂田先生の指示は、生徒たちにそれを教えていた。子どもは「むごく育ててはいけない。」

「むごく育ててはいけない。」
樂か楽で無いことを規準とせず、社会のルールを学ぶために、何が「正しいか、正しくないか」をきっちりと考えて行動する気品と気概をもつた人間として育つてほしい。

坂田先生の指示を受け、さつとシャツをズボンの中に入れられた生徒たちの気品あふれる素直な気持ちに拍手を贈りたい。

常に 正しかれ
(正しさを規準として自己を律する心をもて)

常に 豊かなれ
(正しさを受け入れる素直な心をもて)
常に 気高かれ
(たとえ一人でも正しいことを行う気概をもて)
常に 常中魂で、大会までの自分を磨け、「輝け常中生！」



ブレイクタイム

練習前に、なにやら楽しそうに教頭先生たちと話をする生徒たち。

常中の生徒と教師の関係はとてもよいのが自慢。



一年生たちの学年集会の様子。整然と列を整え、心で話を聞くことができる。これが常中の『集団力』

話を中心で聞く一年生たち